

【資料7】令和6年度がんゲノム医療コーディネータ研修シラバスの作成（太字の箇所を修正・作成）
厚生労働科学研究費補助金 がん対策推進総合研究事業 がんゲノム医療推進に向けたがん遺伝子パネル検査の実態把握とがんゲノム医療提供体制構築に資する研究班(研究代表者 大津敦)に協力して作成

<がんゲノム医療コーディネータ研修シラバスの項目>

1. **事前問題**
2. がんゲノム医療の提供体制について
3. がんゲノム医療の基礎知識
4. バイオマーカーに基づく分子標的治療
5. **遺伝性腫瘍、germline findings と遺伝カウンセリング**
6. 医療倫理と個人情報保護
7. コミュニケーションについての講義
8. がん遺伝子パネル検査の概略
9. がん遺伝子パネル検査のレポートの読み方と結果の説明
10. がん遺伝子パネル検査結果に基づく治療
11. CGMCが行う業務内容
12. **ゲノム検査の将来展望**
13. 事例検討
14. 事後評価及びアンケート

主に1. 5. 12. 14の項目作成に参画した。

研修シラバスより一部抜粋

5. 遺伝性腫瘍、germline findings と遺伝カウンセリング (30 分)

➤ 学習・教育目標および到達目標

- ① 遺伝性腫瘍の特徴と生殖細胞系遺伝子バリエーションについて概説できる。
- ② 遺伝性腫瘍に対するがんリスク評価、がん予防について説明できる。
- ③ がん遺伝子パネル検査における germline findings と遺伝カウンセリングについて説明できる。

➤ 授業計画の項目・内容

下記の項目について説明します。

- ① 生殖細胞系遺伝子バリエーションの特徴、遺伝形式、遺伝医学の用語（座位、アレル、遺伝型、表現型、ホモ接合・ヘテロ接合、顕性遺伝（優性遺伝）・潜性遺伝（劣性遺伝）等
- ② 家系図の見方
- ③ 遺伝性腫瘍の特徴（遺伝性乳がん卵巣がん症候群、リンチ症候群などを例に）
- ④ 生殖細胞系病的遺伝子バリエーションが患者本人及び血縁者に及ぼす影響
- ⑤ 遺伝性腫瘍の特性に即した医療（がんリスク評価、サーベイランス、リスク低減手術など）
- ⑥ がん遺伝子パネル検査における遺伝学的検討と患者・家族への開示（臨床情報と家族歴の検討、がん遺伝子パネル結果のgermline findingsの検討、患者家族へ開示時の留意点など）
- ⑦ 遺伝カウンセリングの実際
- ⑧ 遺伝性腫瘍に関する遺伝学的検査について（単一遺伝子、MGPT:多遺伝子パネル、シングルサイトの各遺伝学的検査）
- ⑨ 多遺伝子パネル検査について（MGPT）

12. ゲノム検査の将来展望 (30 分)

➤ 学習・教育目標および到達目標

- ① 全ゲノム解析の特徴と意義、全ゲノム解析実行計画を概説できる。
- ② 造血器腫瘍におけるCGPについて概説できる。
- ③ 遺伝性腫瘍に関する多遺伝子パネル検査（MGPT）について概説できる。

➤ 授業計画の項目・内容

下記の項目について説明します。

- ① 全ゲノム解析の特徴と意義
- ② 全ゲノム解析等実行計画の概要
- ③ 造血器腫瘍におけるCGPの特徴と意義
- ④ 遺伝性腫瘍に関する多遺伝子パネル検査（MGPT）の特徴と意義
- ⑤ 倫理的事項、説明と同意のあり方
- ⑥ ELSI について